

津波で夫と両親を失った でも、学ぶものがあつた

「恋文大賞」受賞者が龍谷大で講演

宮城県気仙沼市の菅原文子さん

僧侶との出会い、大震災後の「生」の歩み語る

東日本大震災による「ラブレター」で「恋文大賞」を受賞した宮城県津波にのまれ、行方不明を受賞した宮城県門関の龍谷大学頭真明になった夫に宛てた「恋文大賞」の受賞者、菅原文子さんが講演した。



夫への「ラブレター」を手にしながら、大震災後の歩みを学生などに語りかける菅原文子さん(右)。左は鍋島直樹教授。龍谷大学頭真明

菅原文子さんは、震災直後から「生きる道は何か」を考え、酒店をすくさま再開。このことを知った本派災害対策担当の本多隆朗総務が自らのラジオ番組に菅原さんをゲストとして招き、龍谷大の鍋島直樹教授を紹介した。

その後、菅原さんは京都市の和洋紙販売会社が企画した手紙コンクール(応募数約9000通)で恋文大賞を受賞。今回の講演で菅原さんは、津波で夫を

さらわれ、両親も亡くした直後はぼう然自失した状態だったこと、悲しみの中にも酒店を再開した中、行方不明になった夫に帰って来てほしいという思いから震災の年の夏にラブレターを書いたことなど、震災発生時からこれまで歩みを語った。

この中、鍋島教授はラブレターにある「家族みんな待ってま」

族みんな待ってま」という夫へのメッセージに触れ、「帰ってきてほしい、亡くなったのではない」という思いが感じ取れる。この思いに込める教えが、親鸞聖人の「還相回向」浄土に生まれたい人が本願力によって、私たちが世界に還って来て、はげましてくれるという教え」と解説した。

「悩みの中で生きておられる家族が、仏教の言葉から元気をもらって、同じ状態は続かない」という意味もある。苦しむもいつか生きると訴えた。

また、菅原さんは「仏教の法話を聞きたい」と、現地で支援活動も続ける本派総合研究所の金澤豊さんに依頼し、3回法話を聴いた。この際、「無常は希望である」との法話に感銘を受けた」と、浄土真宗の僧侶との縁によって

「本願寺の人たちや鍋島先生と出会い、仏教がわかった。私の話が言葉から元気をもらって、何かの気付きになれば、被災地には今も苦しんでいる人がたくさんおられる。そう、あなたへの恋文」(P. 1260)を出版した。

菅原さんは今年3月、これまでの震災にかつよる体験で感じたこととして、

「あなたへの恋文」(P. 1260)を出版した。

菅原さんは今年3月、これまでの震災にかつよる体験で感じたこととして、

「あなたへの恋文」(P. 1260)を出版した。

菅原さんは今年3月、これまでの震災にかつよる体験で感じたこととして、

「あなたへの恋文」(P. 1260)を出版した。

菅原さんは今年3月、これまでの震災にかつよる体験で感じたこととして、

「あなたへの恋文」(P. 1260)を出版した。

菅原さんは今年3月、これまでの震災にかつよる体験で感じたこととして、

「あなたへの恋文」(P. 1260)を出版した。

菅原さんは今年3月、これまでの震災にかつよる体験で感じたこととして、

「あなたへの恋文」(P. 1260)を出版した。

菅原さんは今年3月、これまでの震災にかつよる体験で感じたこととして、

「あなたへの恋文」(P. 1260)を出版した。

菅原さんは今年3月、これまでの震災にかつよる体験で感じたこととして、

「あなたへの恋文」(P. 1260)を出版した。

菅原さんは今年3月、これまでの震災にかつよる体験で感じたこととして、

「あなたへの恋文」(P. 1260)を出版した。

菅原さんは今年3月、これまでの震災にかつよる体験で感じたこととして、

「あなたへの恋文」(P. 1260)を出版した。

菅原さんは今年3月、これまでの震災にかつよる体験で感じたこととして、

「あなたへの恋文」(P. 1260)を出版した。

菅原さんは今年3月、これまでの震災にかつよる体験で感じたこととして、

「あなたへの恋文」(P. 1260)を出版した。

菅原さんは今年3月、これまでの震災にかつよる体験で感じたこととして、

「あなたへの恋文」(P. 1260)を出版した。

菅原さんは今年3月、これまでの震災にかつよる体験で感じたこととして、

「あなたへの恋文」(P. 1260)を出版した。

菅原さんは今年3月、これまでの震災にかつよる体験で感じたこととして、

「あなたへの恋文」(P. 1260)を出版した。

菅原さんは今年3月、これまでの震災にかつよる体験で感じたこととして、

「あなたへの恋文」(P. 1260)を出版した。

菅原さんは今年3月、これまでの震災にかつよる体験で感じたこととして、

「あなたへの恋文」(P. 1260)を出版した。

カナダ開教区には現の誕生に大きな期待が寄せられている。ナダに広めていく。年層のメンバーが9人。メンバーは7人。開教区の基盤を会離れが進んでいる。解に育てていく中